

学力向上に効果のある取組事例

竹田市立直入小学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

取組の具体①

《校内研修による授業改善》

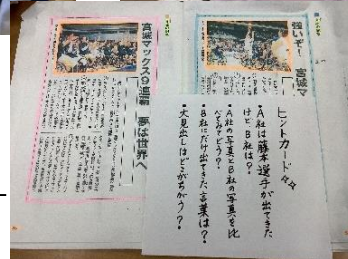
○研究主題

「わかる」「できる」を実感し、主体的に学びに向かう子どもの育成
～論理的な読み方、授業UDを基にした国語科学習を通して～

- (1) 5つの論理的な読み方(①要点・要約②問いと答え③表現技法④三段構成④要旨・意図)の視点で教材研究
- (2) 授業UD「焦点化・視覚化・共有化」の視点で指導する

○授業構成

- ①導入(課題意識を引き出す)
- ②展開1(内容を見える化する)
 - ・写真、挿絵、動画、動作化など
- ③展開2(論理を見える化する)
 - ・図解による見える化
 - ・対話的な活動(質問や反論など)
(自分の考えを書く時間の確保と交流の時間の確保)
 - ・意見の分類、深く追究するための切り返しの発問
- ④まとめ(全員の表現活動の設定)



取組の具体②

《基礎基本の定着のための日常活動》

- (1) 学習規律の徹底
 - ・「聞き方三か条」や「発表の仕方」の掲示と徹底
- (2) スキルタイム(15分間)の充実
 - ・国語、算数について、複数体制で進度に応じた個別指導を行う。
(一学年下の問題、課題のやり直し、苦手分野の復習など)
- (3) 授業内でのスキルタイムの充実
 - ・国語(音読、漢字等)、算数(計算等)を行う。
- (4) 視写活動
 - ・週に1回、子ども新聞等の視写を行う。
- (5) 学習内容について親子会話
 - ・低学年は国語・算数のノート、高学年は自学ノートを見ながら、親子で学習内容について話す。
- (6) 親子読書の推進
 - ・月に1回「親子読書の日」を設定し、読書カードをもとに振り返る。
(低学年は絵本、高学年は視写した新聞の内容について親子で話す。)

